

若者たちにどんな社会を残すのか

9月議会
砂田市議の一般質問

週刊

明るい小矢部

赤旗 読者通信 改題

2021.9.19
通巻No.1529

日本共産党
小矢部市委員会

市内七社 245
Tel 67-4322
Fax 67-4842

何でも
ご相談を



市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



衆議院議員
藤野保史

参議院議員
たけだ良介

参議院議員
井上哲士

衆議院議員
笠井あきら

禁無断転載
複写配布

気候危機を打開へ市は本気に！

市温暖化対策実行計画の見直しを



地球温暖化対策について質問する砂田市議 2021年9月10日

世界各地で異常気象が大問題になっています。この解決には、国連IPCCは温室効果ガスの排出を2030年までに45%削減（2010年比）し、2050年までにゼロを目標に掲げています。砂田市議は小矢部市としてどうするか、9月議会で10日に質問しました。

温室効果ガス50〜60%削減を

日本共産党の提案「2030戦略」

砂田市議 気候危機の問題では世界でも高校生の皆んが立ちあがって訴えている。小矢部市についても、これから社会を担う高校生や、子孫の時代にどんな社会を残していくのが問われている。

日本共産党は2030年度までに温室効果ガスを50〜60%削減する方策を提案している。省エネで30〜40%減らし、電力を再生可能エネルギーで40〜50%まかなえる。

日本政府も、市も削減目標・計画が低い

砂田市議 ところが、日本政府の温室効果ガス削減目標は42%（2010年比）で国連や他の先進国に比べて低すぎる。①石炭火力の新増設と輸出 ②原発依存 ③美用化のメドも立っていない ④新技術を前提にしているという無責任なものである。

小矢部市の温暖化対策実行計画の見直しも必要ではないか。削減目標34.9%は低すぎないか。取り組み内容も、①照明のLED化 ②発調の高効率化 ③ボイラーの更新 ④公用車の低燃費化では消極的すぎないか。

民生部長 2008年に制定した計画で本市の所有する施設や庁用車などから排出される温室効果ガスの削減を目的としている。国は今年4月に菅首相が2030年度までに46%（2010年比）削減し、2050年に50%削減に挑戦すると述べた。国からの通知があり次第、本市の目標、対策の内容も見直ししていきたい。



すぐに取られかねないこと

窓の断熱化、太陽光発電、電気自動車、パークアンドライド

砂田市議は、国の通知を待たずに見直すべきでないかと、三つの提案をしました。

- (1) 今度の補正予算で提案されている市役所庁舎北側窓枠の取り替えでは、断熱効果を高めるために二重ガラスにする。公共施設で実際に緑のカーテンを設置。
- (2) 公共施設の屋根に太陽光発電の設置を進める(国の目標は2030年までに50%、40年までに100%)。
- (3) 市役所として①ボイラーをペレット燃料に、②電気自動車と自転車の活用 ③パークアンドライドの普及拡大(公共交通の活用と駐車場の活用)。

総務部長は交換する窓枠について「費用のこともあって安価なシングルガラスで、緑のカーテンについては管理に手間がかかるなどと答弁、太陽光発電については「本庁舎耐震化の大規模改修時に設置すること答えました。」

また、「①ペレットボイラーに切り替えるには費用負担がかかるので難しい。②庁用車には電気自動車の導入実績はないが、ガソリン車に比べて効果が高く、また非常時には蓄電池として活用もできるので、費用対効果を見ながら導入を検討したい。③公共交通機関を利用すると、旅費など財政的な措置が必要で、駅と目的地との間に距離がある場合時間的なロスが生じるので、総合的な判断をしたうえで選択していく」と述べました。

砂田市議は、「どんな立派な目標を掲げても、結局やらないうい言いつい過ぎない。気候変動危機に対処する本気度が問われている」と批判しました。



省エネ、再生可能エネルギーに必要な財源の手当て

省エネや再生可能エネルギーにすすむための初期投資の財源の手当てが課題です。

砂田市議 初期投資に必要な資金は、クラウドファンディングや民間資金の活用もいろいろある。また、再生可能エネルギー条例の制定が必要ではないか。具体的には、①地元企業と「省エネや再生可能エネルギーへの転換を含む協定の締結」②断熱省エネ住宅へのリフォームや、太陽光発電用パネルや太陽熱温水器の普及と、そのための支援窓口の開設を市役所に設ける」とである。



民生部長 財源については民間投資を活用することは欠かせないと考えている。現在、電力事業者等、民間企業によりエネルギー設備導入支援事業が全国的に展開されている。このような様々の支援策の情報収集に努めたい。また、県には中小企業のために、環境負荷低減の融資制度がある。

現在市は、温暖化対策の区域施策編の制定を検討中で、市区内での脱炭素化に向けた目標とその手法を盛り込む。今提案されたことを、他自治体の先進事例の調査研究も含めて対応したい。

世相ざれ言

森友も 加計もさくらも 知りません
舌は百枚 持ってますから 荒川の百舌鳥もず